

令和 2 年 第 4 回委員会会議録

1 開催年月日 令和 2 年 2 月 20 日（木）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時21分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記 2 名

6 傍聴者 なし

7 議 題

（1）報告事項

① 選挙人名簿から抹消する者の数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

③ 令和 2 年度当初予算案について

④ せんきよかわら版No.42「選挙クイズ」当選者の抽選について

（2）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・ 令和 2 年 3 月 6 日（金）午前10時30分

・ 令和 2 年 3 月 25 日（水）午前10時30分

・ 令和 2 年 4 月 6 日（月）午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項①～④について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ 来年度は選挙が予定されていないが，オリンピック開催後など，年内に衆議院の解散による総選挙が予想されている。解散総選挙となった場合は，補正予算を組む必要があるが，新たに選挙権を得る18歳への啓発活動として，他の政令市で実施しているバースデーカードを郵送する予算も要求すべきだと考える。

▲ 国政選挙の場合，選挙執行経費基準法の基準に従い，その範囲で予算を組むことになることと，解散による総選挙は，1 か月程しかない中で準備をしなければならないため対応が難しい。

○ 委員研修会の講師の話や報酬のあり方検討会議の議論の中で、選挙管理委員
の職責として、投票率低下の問題も言われるのであれば、投票率アップへの対
策として啓発活動は最優先すべき課題だと考える。
これまでの選挙管理委員会の議論の中で、選挙管理委員としては、何らかの
方策が必要だと伝えてきたので、予算が厳しいということではなく、必要な費
用については要求していくことが重要だと思う。
○ 私もバースデーカードについては実施した方が良いと思う。国政選挙であっ
ても、国からくる予算のほかに市独自の予算を要求しても良いと思う。
○ 選挙時となると時間的な問題もあるとは思いますが、それについては事前に準備
をしておけば対応できると思う。
▲ バースデーカードの郵送という提案については、予算の問題もあるので、事
務局としては、選挙時ではないが、はたちのつどいの案内通知の中に選挙啓発
の内容を印刷する取組みを行うことを考えている。
○ それはそれとして、選挙管理委員の4人としては、選挙時にバースデーカー
ドの郵送を実施した方が良いという意見で一致しているはずである。
○ 若者の政治意識は低下しており、このままでは投票率は上がらない。具体的
に何が必要かを考えて予算を要求する必要がある。
○ 今回、委員報酬が減額されたが、その委員報酬が減額された分の予算を啓発
など別の事業に充てることを考えてもよかったのではないかなと思う。
○ 投票率が上がらないことについては、様々な要因が考えられるが、選挙管理
委員会として、新有権者へのアプローチを研究し、できる限りの努力をしてい
く必要がある。
○ 中学校への出前授業の拡大については、何年生が対象になるのか。
▲ 公民の授業で選挙を取り扱う3年生を対象にしている。
○ これまでの出前授業の実施状況を体系的なデータにすることにより未実施の
学校を把握し、小学校で実施できなければ中学校で実施するなど、体系的に実
施できる方法を検討して欲しい。
○ これまで視察した小学校の出前授業では、給食のメニューをどうするかとい
う内容の授業が多かったが、先日の千代小学校での出前授業では、これだけの
予算があったら何に使ったら良いかという内容であった。政治を簡単に言えば、

国民の税金をどのように使うかということであり，投票のテーマとしては，現
実に即しており，とても良い内容だったので，教育委員会と協議して，全体的
に広げていくことも必要だと思う。
このような体験を繰り返すことにより，主権者意識が芽生え，選挙権を得た
ときの投票行動に繋がっていくと思う。
○ 選挙啓発の位置付けが人権啓発と比べて格差があるように思う。人権啓発は
毎年取組みが行われている。
例えば，出前授業については，小学校等から申込みを募るだけではなく，選
管からもっと積極的に働きかけると良いと思う。
(2) その他
・ 次回以降の委員会の開催日時は，資料記載のとおり決定した。